

つどい

第12号

発行日：令和5年11月

こんにちは！野木町交流センター「野木ホフマン館」です。
今回の「つどい第12号」でお届けするのは、概ね次のとおりです。

- 野木ホフマン館の近況と事業
- 野木町煉瓦窯のおはなしその⑫
- 自然豊かな渡良瀬遊水地その⑪

【野木ホフマン館の近況と事業】

町制施行60周年記念秋フェスタを11月18日（土）、19日（日）に実施いたします。昨年は、とちぎ国体に併せて10月に行いましたが、今年は落葉高木メタセコイア並木の紅葉時期に併せて行います。無料煉瓦窯見学ツアーの他、多くのワークショップを予定しています。また、メタセコイア並木の紅葉が始まりますと多方面から多くの方がカメラを片手にメタセコイア並木の紅葉を撮りに来られます。ご来場をお待ちしています。

殿堂入りのバラの園の愛称が「プロースト」(Prost)に決まりました。皆で作りに上げたバラの園の完成の喜びを込めた愛称でドイツ語「乾杯」の意味を表します。



バラ園「プロースト」



メタセコイア並木



歴史体験講座「アンギン編み」



歴史講座「煉瓦窯を奥まで見てみよう」

野木町煉瓦窯のおはなし その⑫

野木町煉瓦窯の4号窯では「ロストル(焚口)」を再現しています。火がついていない状態の窯に最初に点火するときには、煉瓦を積んで下の写真のようなロストルを作り、火をつけました。

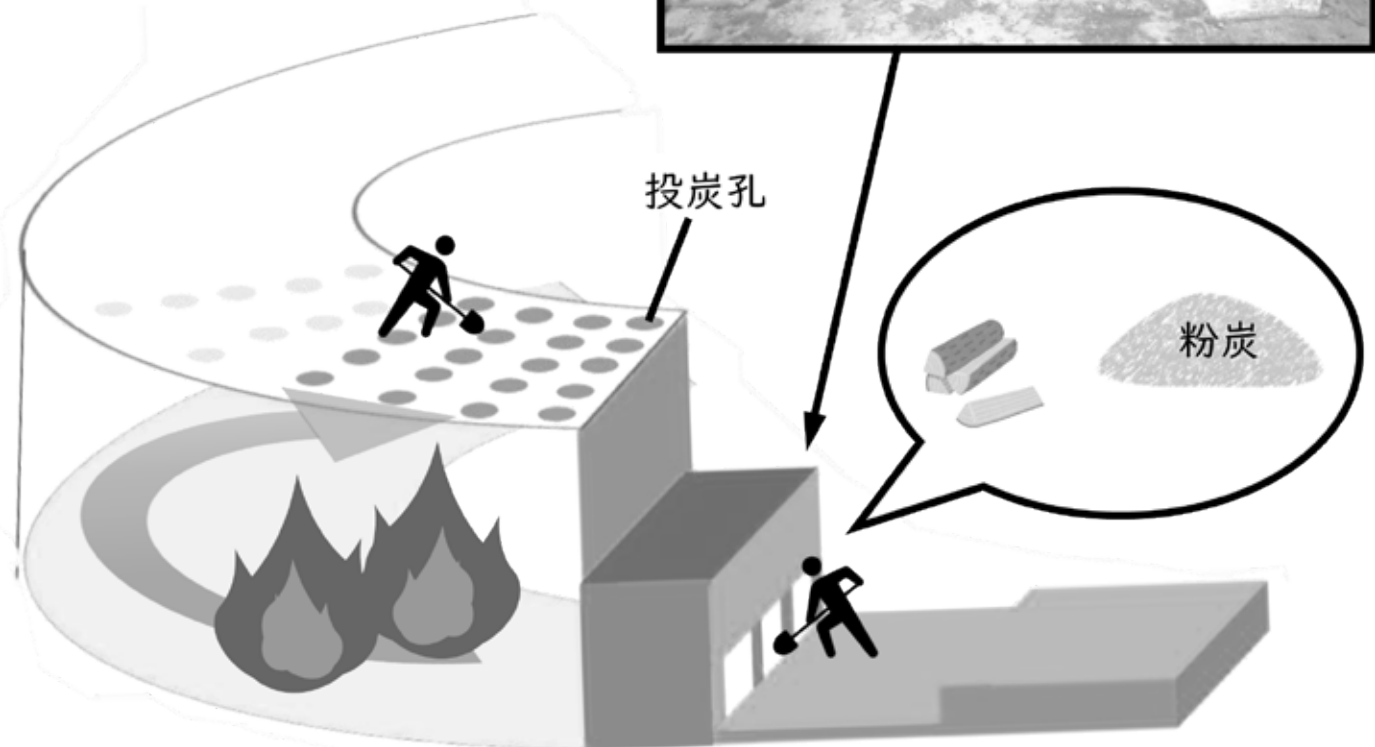
野木町煉瓦窯を含むホフマン式輪窯は、いったん火をつけたあとは火を燃え移らせながら煉瓦を焼き続けるしくみのため、点火のあとはロストルが邪魔になってしまいます。そこで、点火が終わるとロストルを解体し、床が低くなっている部分に煉瓦を敷きなおし、他の焼成室と同じ状態にします。これでロストルがあった焼成室でも煉瓦を焼くことができるので、2周目、3周目... と続けて火を移動させて煉瓦を焼いていきました。

ロストル (4号窯内部)

下の3つの穴から5号窯(写真奥側)へ火をつける。まずは薪を燃やし、温度が上がったら粉炭を投入する



↓窯内部(一部)の模式図



自然豊かな渡良瀬遊水地 その⑪

渡良瀬遊水地総合開発事業 ～取水・補給施設～

取水・補給施設は、渡良瀬貯水池(谷中湖)と川側を結び、取水並びに補給を行う施設であり、治水・利水・水質浄化等の多様な利用目的を持つ施設であります。

イ) 貯水池機場

貯水池機場の位置は、第1調節池・谷中湖の下端、第1排水門に隣接して設置してあります。貯水池機場は、4つの門と機場を設け、その操作により谷中湖への貯留及び谷中湖から渡良瀬川・利根川へ補給を行うものであります。門の一つである「北水門」は、貯留水の入れ替え時に取水した水が谷中湖内を円滑に流動して貯留水と入れ換わり、順次古い貯留水が排出されるよう地内水路と谷中湖北側に水門を設置し、水質保全を図っています。

その他の3つ門は、第1調節池から第3調節池に排水門として設置しています。

ロ) 地内水路

地内水路は、囲繞堤に沿った水路で洪水流を考慮し幅40m、また北水門へつながる水路は幅20mで整備してあります。

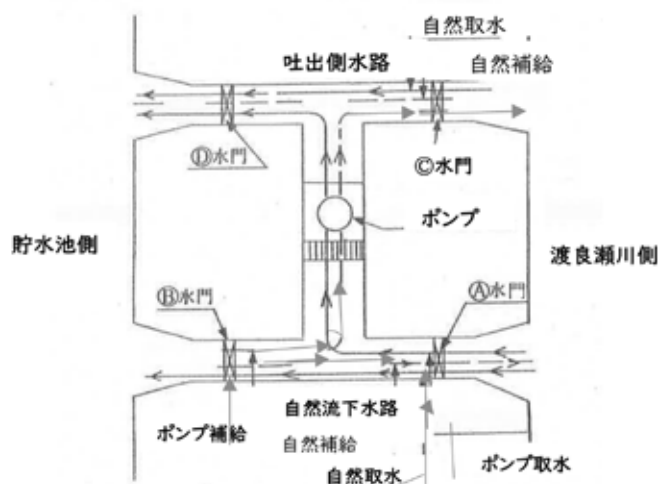
◆池内水路標準断面図



◆池内水路位置図



◆取水・補給方法模式図



参考文献

「渡良瀬遊水地の時」より

渡良瀬遊水地の近況

野鳥観察会「ツバメのねぐら入り」を渡良瀬遊水地第1調節池内で8月10日に行いました。今年の「ツバメのねぐら入り」は、ここ数年で最高の観察会でした。ヨシ原の上空にどこからともなく、ツバメが飛んできて、日の入り過ぎには何万羽というツバメがヨシ原の上を飛び、その速さ、数の多さは圧巻でした。来年も同様な観察会「ツバメ」に期待し、参加をお待ちしています。

野木町交流センター

(野木ホフマン館)

開館日：火曜日～日曜日

9:00～18:00

(国民の祝日開館、翌平日閉館)

〒329-0114

野木町大字野木3324-10

☎ 0280-33-6667